

33年に一度の秘仏御開帳終わる

33年に一度33日間だけ公開される道成寺の秘仏千手観音立像は、4月27日の鐘供養会式にその扉を閉じました。期間中は全国から多くの方が参拝に訪れ、様々な催しが行われました。その中から紹介します。



人形浄瑠璃 3/28

3月28日に大阪国立文楽劇場から、人形浄瑠璃「日高川入相花王」を踊る清姫の人形と人形遣いの3人が公演の成功祈願に訪れました。人形が手を合わせお祈りの後住職からお守りを受け取りました。



びんかた衣装と花笠で沖縄民謡を

組踊「執心鐘入」 4/9

4月9日沖縄の伝統組踊「正風会」が本土初公演を行い、安珍清姫物語を沖縄風に創作した「執心鐘入」と様々な琉球舞踏を奉納しました。



美少年(左)と宿の女



左から次男七之助さん、勘三郎さん、妻の好江さん、長男の勘太郎さん

中村勘三郎さん一家も

4/26

東京歌舞伎座で公演の「京鹿子娘道成寺」成功祈願のため3月28日に初めて道成寺を訪れていた勘三郎さんは、祈願成就のお礼参りと秘仏を大事な人とお参りするとよいと聞き、4月26日に家族で再度訪れました。



ジャンジャカ踊り

4/27

ご開帳最終日となる4月27日は会式で、大成中生徒に担がれたジャンジャカ踊りの蛇と安珍は平安装束の県熊野キャンペーンスタッフ2人の先導で野口橋から境内までを練り歩きました。

日本一の藤棚ロード



リフレッシュエリアみやまの里の森林公園には日本一長い『藤棚ロード(1646m)』があります。

4月27日から5月4日までの8日間、『第7回みやまの里ふじまつり』が開催され、多くの方が訪れました。



4月29日には、県無形文化財の上阿田木神社祭(美山)が行われました。

室町時代から続く優雅な祭りで、稚児の舞、ヤツハチの舞などが奉納されます。

上阿田木神社祭

